

第 37 回歴史地震研究会 総会議事録

日時：2020 年 9 月 28 日（月） 14:20～15:40

於：オンライン開催

■定足数確認

歴史地震研究会会則第 20 条により、総会は会員の 10 分の 1 の実出席を要すると定められている。現在の会員数 266 名、総会参加会員数は 40 名、委任状提出 16 名で定足数を満たし、総会は成立する。（大邑総務委員長） ※一号議案の途中で 3 名入場(43 名) 四号議案の途中で 1 名退場(42 名)

■松浦律子会長挨拶

■議長選出

大邑総務委員長より佐竹健治会員を議長に推薦。佐竹健治会員が議長に選出され、ここからは議長が進行を務める。

■佐竹議長挨拶

第一号議案 2019 年度事業報告および決算報告

1. 2019 年度事業報告

(1) 研究成果発表会および講演会

①第 36 回歴史地震研究会（徳島大会）の開催について（代理：大邑総務委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)①により説明。

②第 37 回歴史地震研究会（伊賀大会）の開催準備について（盆野行事委員長）

総会資料第一号議案 1.(1)②により説明。

(2) 会誌の刊行について（行谷編集出版委員長）

『歴史地震』第 35 号を 2019 年 7 月末に発行したことについて総会資料第一号議案 1.(2)により説明。

(3) 広報活動について（加納広報委員長）

総会資料第一号議案 1.(3)により以下の事項について説明した。

①新たに Flash を用いないホームページを立ち上げ運用中である。15 号 16 号 34 号 PDF、議事録、大会案内などを掲載した。

②大会の周知

③メーリングリストの管理

(4) その他（大邑潤三総務委員長）

研究会の各事業を行うために付随する活動として、大会中の総会 1 回と幹事会 5 回を行ったことを総会資料第一号議案 1.(5)により説明。

2. 2018 年度決算報告

(1)2019 年度決算報告について（諸井孝文財政委員長）

総会資料第一号議案 2 および説明資料の 2019 年度会計監査報告書および会員の現況及び会費受取状況により、2019 年度の収入と支出、大分大会の収入と支出を報告。

歴史地震研究会 2019年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2019年度会費	988,000	984,000	▲ 4,000	4000円×246名
	2018年度以前会費	0	62,000	62,000	4000円×11名,3000円×6名
	2020年度会費	0	88,000	88,000	4000円×22名
	2021年度会費	0	4,000	4,000	4000円×1名
	会誌口絵代・超過頁代	0	118,000	118,000	23000円×5,1500円×2
	会誌・講演要旨バックナンバー代	0	17,110	17,110	会誌11部, 講演要旨1部
	徳島大会剰余金	0	160,511	160,511	
	寄付金	0	10,000	10,000	小磯修一会員
	前年度繰越	2,228,499	2,228,499	0	
	合計	3,216,499	3,672,120	455,621	

支出	2019年度徳島大会関係費	50,000	0	▲ 50,000	剰余金のみ
	2020年度以降大会準備費	50,000	0	▲ 50,000	
	歴史地震35号印刷・発送代	656,000	775,390	119,390	450部, 振込送料440円込
	同編集費	25,000	10,000	▲ 15,000	編集補助謝金
	HP管理費	20,000	21,440	1,440	振込送料220円込
	会議費	200,000	48,492	▲ 151,508	交通費・宿泊費
	功績賞関連費	100,000	55,596	▲ 44,404	振込送料216円込
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	11,567	▲ 18,433	資料送付料・切手代・他
	合計	1,131,000	922,485	▲ 208,515	

次年度繰越金	2,085,499	2,749,635	664,136	
--------	-----------	-----------	---------	--

2019年徳島大会収支報告

項目		金額	内訳
収入	参加費(会員・他)	168,000	2000円×84名, 会員・LOC・学生
	同上(非会員)	56,000	4000円×14名
	懇親会会費(一般)	325,000	5000円×65名
	同上(学生)	5,000	2500円×2名
	巡検参加費	148,000	4000円×37名
	徳島県観光協会助成金	300,000	
	合計	1,002,000	

支出	大会会場費	131,112	徳島大地域連携大ホール(振込送料432円込)
	大会会場駐車場代	6,696	阿波踊り連員用(振込送料216円込)
	予稿集印刷費	64,432	100部(振込送料432円込)
	懇親会費	272,632	3500円×60名+飲物代(振込送料432円込)
	阿波踊り出演料	100,432	阿波おどりうずき連(振込送料432円込)
	公開講演会講師謝金	20,000	牟岐町防災サークル, 美波町立由岐小学校
	巡検代金	144,930	交通費・昼食代・保険料
	人形浄瑠璃観劇料	15,420	松茂町歴史民俗資料館・人形浄瑠璃芝居資料館
	巡検ガイド謝金	20,000	同上
	アルバイト代	60,000	10000円×3日+10000円×1.5日×2人
	文具代	2,909	公開講演会チラシ用紙
	雑費	2,926	控室用ジュース・お菓子
	合計	841,489	

収支差額	160,511	剰余金
------	---------	-----

(2)会計監査報告(中村監査役、植竹監査役)

2019年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した。

〈第一号議案について質疑〉

なし

(議長) 第一号議案 2019 年度事業計画および決算報告の承認

承認：43 非承認：0 保留：0 第一号議案を承認

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 2 項に基づき、幹事会の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長) 松浦律子氏の次期会長就任の承認

承認：43 非承認：0 保留：0 松浦律子氏の会長就任を承認

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 4 項に基づき、幹事会として現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長) 中村操氏と植竹富一氏の次期監査役就任の承認

承認：43 非承認：0 保留：0 中村操氏と植竹富一氏の監査役就任を承認

■新会長挨拶と役員指名

次期の松浦律子会長より挨拶。2020 年度の役員は、副会長に堀川晴央氏(留任)、幹事は総務委員長に大邑潤三氏(留任)、財政委員長に諸井孝文氏(留任)、広報委員長に加納靖之氏(留任)、行事委員長に西村裕一氏(新任)、編集出版委員長に行谷佑一氏(留任)を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を追って指名する。

■各新幹事・監査役より挨拶

第四号議案 2020 年度事業計画および予算案

1. 2020 年度事業計画案

(1) 研究成果発表会および講演会

①第 37 回大会を伊賀市において開催予定であったが、感染症拡大により公開講演会、懇親会、巡検を中止し、研究発表会と総会をオンラインで実施。(大邑総務委員長)

②2021 年第 38 回大会を苫小牧市で開催するため準備を行う。(西村新行事委員長)

③2022 年第 39 回大会の大会候補地について候補地の選定、日程調整を行う。

(大邑総務委員長)

(2) 会誌の刊行(行谷編集出版委員長)

会誌『歴史地震』第 36 号を 2021 年 7 月末頃に発行予定であり、論文を募集する旨と体裁や締め切りについて、総会資料第四号議案 1.(2)により説明

(3) 広報活動(加納広報委員長)

ホームページと会員メーリングリストおよび musha の運営管理を引き続き行う旨、総会資料第四号議案 1.(3)により説明。

(4)歴史地震研究に関する業績の表彰（大邑総務委員長）

歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する旨、総会資料第四号議案 1.(4)により説明。

(5)その他（大邑総務委員長）

会の運営のため総会および年間 5 回程度の幹事会を開催する旨、総会資料第四号議案 1.(5)により説明。

2. 2020 年度予算案（諸井財政委員長）

総会資料第五号議案 2 歴史地震研究会 2020 年度予算案により 2020 年度予算について説明。

〈第四号議案について質疑〉

Q：大会に使用した Zoom の契約料はどうなっているのか。

A：本オンライン伊賀大会は東大の Zoom ライセンスを使用しており研究会として契約はしていない（東大では構成員が学会活動に自身に交付されている Zoom ライセンスを使用することを認めている）。今後、研究会としてライセンスを用意することになるかもしれないが、現在は予算案には入っていない。（加納広報委員長）

A：オンライン開催が決定した段階では、どの程度経費が必要になるか不明であったため 5 万円を計上した。結果的にはほぼ使われない可能性もある。（諸井財政委員長）

A：今回は予稿集の印刷もなかったため経費が抑えられた。（松浦会長）

Q：幹事会はオンラインで開催しているのか

A：7 月までの幹事会はオンラインで開催した

Q：予算案の会議費はほぼ旅費と考えてよいか

A：苫小牧市などに挨拶に赴く可能性もあるため計上してある

Q：『歴史地震』の編集について、査読者は各編集委員が選定し委員長も把握していないとの事だが特定の人に査読が集中する可能性はないのか。

A：どの論文が誰に査読されているかは基本的には編集出版委員長といえども把握せず、各編集委員のみがそれぞれの担当原稿の査読者を知ることによって査読者秘匿の原則を守っている。しかし、編集出版委員長のみ査読者の一覧は把握しているため重複はおこらない。

（議長） 第四号議案 2020 年度事業計画および予算案の承認

承認：42 非承認：0 保留：0 2020 年度事業計画および予算案を承認

■議長解任

■閉会